

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公表番号】特表 2003-510128 (P2003-510128A)

【公表日】平成 15 年 3 月 18 日 (2003.3.18)

【出願番号】特願 2001-526117 (P2001-526117)

【国際特許分類】

**A 6 1 C 7/14 (2006.01)**

**A 6 1 C 7/28 (2006.01)**

**A 6 1 C 7/22 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 C 7/00 B

A 6 1 C 7/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 29 日 (2007.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 歯列矯正器具であって、  
 該器具を歯に固着するためのベースと、  
 該ベースから延出している本体と、  
 略近心 - 遠心方向に該本体を横切って延在するアーチワイヤスロットと、  
 アーチワイヤを該アーチワイヤスロット内に解放自在に保持するために該本体に接続されたラッチであって、該アーチワイヤが該器具に対し略頬唇方向へ約 2 . 3 k g を超える力を生じたときに、該アーチワイヤを該略頬唇方向へ該アーチワイヤスロットから解放するラッチと、  
 を具備する歯列矯正器具。

【請求項 2】 歯列矯正器具であって、  
 該器具を歯に固着するためのベースと、  
 該ベースから延出している本体と、  
 略近心 - 遠心方向に該本体を横切って延在するアーチワイヤスロットと、  
 アーチワイヤを該アーチワイヤスロット内に解放自在に保持するために該本体に接続されたラッチであって、該アーチワイヤが該器具に対し略頬唇方向へ、該器具を該歯から該略頬唇方向へ脱離するのに要する力の約半分未満である特定の最小値を超える力を生じたときに、該アーチワイヤを該アーチワイヤスロットから解放するラッチと、  
 を具備する歯列矯正器具。

【請求項 3】 前記アーチワイヤを前記ラッチに対して略舌側方向に押圧することにより、該ラッチが、前記アーチワイヤスロット内への該アーチワイヤの挿通を可能にするスロット開放位置に移動可能である、請求項 1 または 2 に記載の歯列矯正器具。